

生涯「美道の追求」に尽力、日本における美容家の草分け的存在・山野愛子が残した輝かしい功績。それは夫・治一との夫婦二人三脚で歩み続けた道のりでもあった。

4月29日(水)21:00～21:54

昭和偉人伝 「山野愛子」

■POINT

昭和—。国家壊滅の状態から未曾有の成長を遂げた類いまれな時代。そこには、時代を先導したリーダーがいた。しかし、輝くリーダーの歩んできた人生は決して順風満帆ではない。独自取材と貴重な映像、今だからこそ言葉にできる真実のインタビューを交えてつづる、波瀾万丈の偉人伝。『昭和』という時代がなぜ今なお輝いて見え、私たちの胸に深く刺さるのか？ 偉人の後ろ姿から私たち自身を振り返る。

■CONTENTS

日本における美容家の草分け的存在、山野愛子。戦前は国産パーマネット機を独自に開発し、パーマネットを全国に普及。戦後は日本最大規模の美容師養成施設・山野美容専門学校を創設し、初代校長としてこれまでに21万人もの人材を輩出している。現在もその名を冠した美容室が世界中にある。山野愛子が美容界に残した輝かしい功績、それは夫・山野治一との夫婦二人三脚で歩み続けた道のりでもある。

新進気鋭の美容師として活躍していた愛子と結ばれた治一は、勤めていた役所を辞め、妻を「日本一の美容師」にするべく、美容師の地位向上に奔走。優れた技術を持つ愛子と、プロデューサーとしての才を持つ治一。戦争や同業者からのバッシング、そして最愛の息子の死をも乗り越え、2人は支え合いながら、日本の美容界をリードし続けた。

番組では、貴重な2人の肉声や長男・正義氏をはじめとする関係者の証言をもとに、昭和という時代を美しく彩った、山野愛子の86年の生涯をひもとく。



日本における美容家の草分け的存在、山野愛子